

令和3年度 第一回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

日時：令和3年6月22日（火）

14:30～16:30

場所：国営海の中道海浜公園事務所

議事次第

1. 開会

2. 議題

1) 公園の利用状況、今後の協議会の進め方について

・・・資料1

2) 各主体における今年度の取組内容

・・・資料2

3) 福岡型ワーケーションの取組みについて

3. 閉会

以上

○配付資料

配席図、参加者名簿

国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会 規約、委員名簿

資料1 公園の利用状況、今後の協議会の進め方

資料2 4つの将来像の取組 フォローアップ様式

参考資料-1 うみなかビジョン2030

参考資料-2 今年度の取組参考資料（海の中道管理センター）

参考資料-3 今年度の取組参考資料（マリンワールド海の中道）

参考資料-4 今年度の取組参考資料（ザ・ルイガンズ）

参考資料-5 今年度の取組参考資料（海の中道マリーナ&テニス）

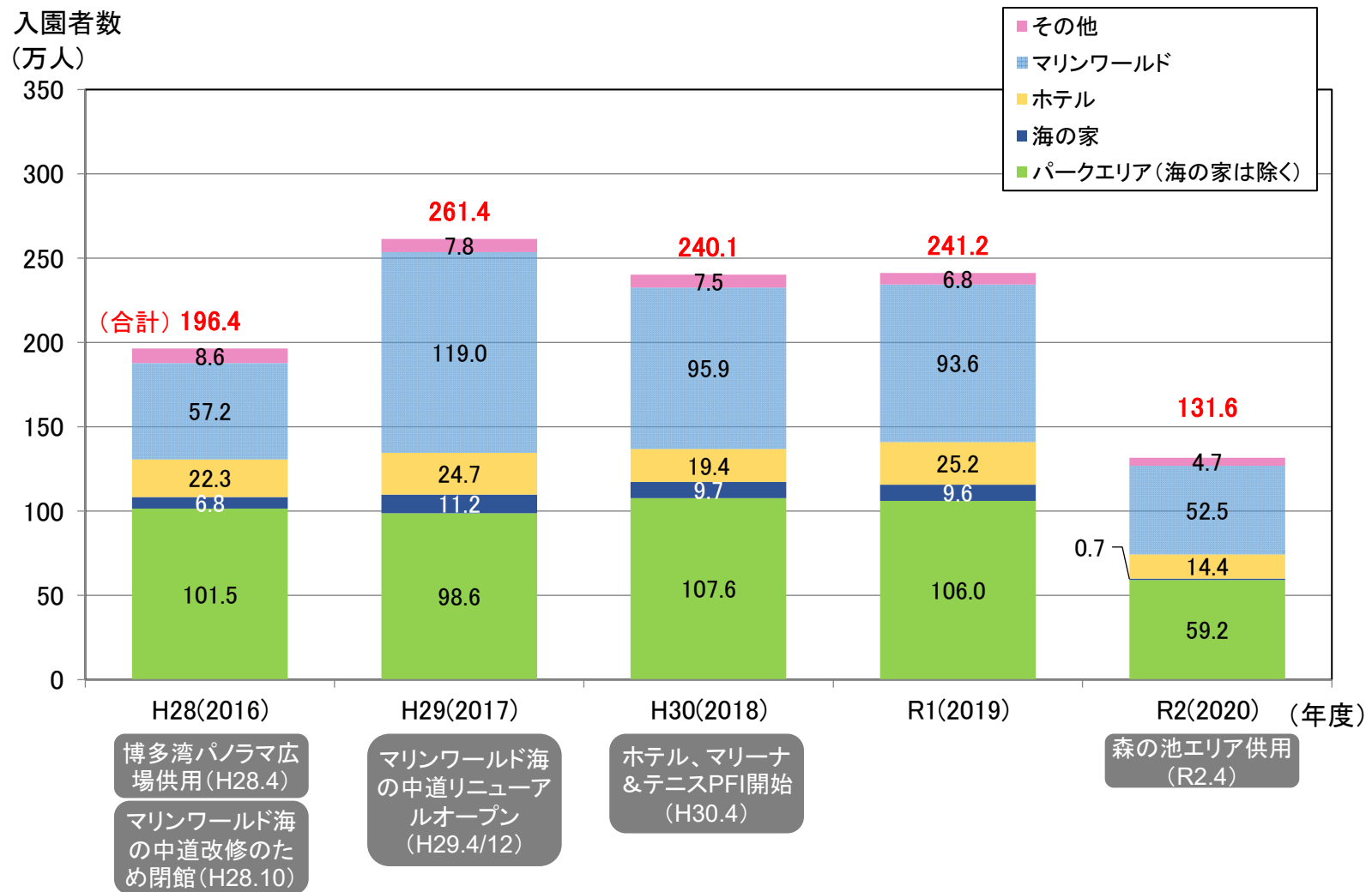
参考資料-6 今年度の取組参考資料（青少年海の家）

参考資料-7 今年度の取組参考資料（海の中道パーク・ツーリズム共同事業体）

公園の利用状況、 今後の協議会の進め方

直近5年間の入園者数の推移

○ 平成28年度から令和1年度までは、200～250万人前後で推移していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う閉園等により132万人に半減。



今後の協議会の進め方

- 今後、年2回定例で協議会を開催し、当年度の取組み予定や結果の報告、メンバー間での調整等を実施。（必要に応じて臨時開催等もあり）
- 協議会での協議結果を踏まえ、具体的な取組の進捗確認、連携施策の具体化等を園内関係機関の会議（月1回）にて実施。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会 年度計画の報告 前年度取組の報告 助言、提案調整等 取組の中間報告 助言、提案調整等		●						●				
園内機関の会議 ・管理運営委員会（所長級） ・利用促進・サービス部会 ・施設保全部会（課長・係長級） ・ビジョンの実現に向けた取組の実施、情報共有 ・関係機関での連携施策の提案、調整 ・特定テーマ（ワーケーション、広報等）の具体的検討等	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【海の中道管理センター】

: 全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）																		
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)									
将来像1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																								
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセミナー、海の冒険団、カッター教室等）	●連携メニューの一層の充実	○マリナー連携「クルージング体験」（4月） ○マリンワールド連携「水辺の生き物観察会」「サンショウウオ観察会」（7月）																			
	公園の外との連携強化	●公園、志賀島や西戸崎等の地域関係者がオールうみなかで地域の魅力を発信する「（仮称）うみなかたび推進会議」を設置し、ポータルサイトなどによりエリアで一体となった情報発信を行う。	“うみなかたび”ポータルサイト設置 海の中道エリア一体となった情報発信	●2021年度（R3年度）～ポータルサイト開設し、公園全体の魅力を発信	ポータルサイト開設（4月）																			
			「オールうみなか」でのプロモーション主導（うみなかたびプロデュース） 「うみなかたび推進会議」開催	●2020年度（R2年度）～会議開催を通じ、公園施設や地域一体となった旅のプランを企画し、ポータルサイト等で情報発信	○会議開催 年2回会議開催（今秋・来春の企画） ○旅のプラン 休暇村と連携した通年型スタンプラリー開催（4～3月）、その他適宜実施																			
海の中道ならではの多様なレクリエーションの提供	食の魅力の充実	●地産地消、食育などのテーマ性のある食の提供、地域と連携したマルシェの開催など海の中道ならではの飲食サービスを充実させる。	四季折々のイベントの魅力を高める多様な食体験の充実	●2020年度（R2年度）～レストランにてフードフェア実施 ●2020年度（R2年度）～秋イベントにてアジアメニュー ●2020年度（R2年度）～冬イベントにてホットメニュー提供 ●2022年度（R4年度）～春イベントにてコーヒーフェスタ実施	レストランにてフードフェア実施 秋イベントにてアジアメニュー 冬イベントにてホットメニュー提供																			
			“いまだけ・ここだけ・気軽に”を楽しめる飲食サービスの充実（「花カフェ」の運営、インクルーシブカフェの設置）	●2020年度（R2年度）～春秋を主に季節売店の営業（花カフェ） ●2022年度（R4年度）～大芝生広場売店リニューアルにより飲食メニュー充実	春秋を主に季節売店の営業（花カフェ）																			
地域活性化	地域活性化	地元と連携し、収穫体験、釣り体験等のアクティビティ、志賀島と連携したサイクルツーリズムなど、公園を起点とした地域観光への誘導を推進する。 地域との連携によるイベントの開催などにより、公園と地域の集客施設等との相互利用を促進する。	「サイクルツーリズム」により公園と地域をつなぐ観光振興を主導	●2020年度（R2年度）～地域民間事業者や福岡市と連携し自転車観光促進等を促進。渡船場より園外レンタサイクルを実施	●施設内の消毒（特に人の手が触れる箇所） ●施設内の換気 ●消毒の設置 ●ポスター等での注意喚起																			
			「キャンプハカタプロジェクト」による“地域の新しい魅力”の発掘	●2020年度（R2年度）～秋季に地元商工会等と連携し西戸崎地区を中心としたサイクルガイドツアーを実施	秋季に地元商工会等と連携し西戸崎地区を中心としたサイクルガイドツアーを実施																			

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【海の中道管理センター】

: 全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
						(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)
将来像 2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園															
海の中道固有の白砂青松の景観の保全、再生	マツ林育成	<ul style="list-style-type: none"> ●玄界灘側のD地区未供用区域のマツの植栽等を推進する。 ●樹幹注入等の松くい虫対策や植林箇所の密度管理等、マツ林の育成保全の取組を継続して実施する。 	若年マツの保護育成、間伐、松枯れの予防保全	<ul style="list-style-type: none"> ●市民共働による保全作業と計画的なマツクイムシ防除を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民共働による保全作業（年5回程度） ○計画的なマツクイムシ防除を実施（適宜） 										
	多様な主体との協働	<ul style="list-style-type: none"> ●公園内外のマツ林育成保全のため、マツ林の保全活動に取り組む自治体、市民団体等との協働、情報共有等を推進する。 ●江戸時代から続くクロマツ林の植林の取組みを紹介するガイドツアーやボランティアによる植栽、海岸清掃などを通じて市民と協働で白砂青松の景観を保全する。 	「白砂青松海浜公園サミット」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ●2022年度（R4年度） 松林の保全活動に取り組む団体等と呼びかけ開催。活動課題や良好事例の情報共有及び今後の活動にフィードバック 	松林の保全活動に取り組む団体等と情報交換										
教育施設、環境学習フィールドとして活用	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ●環境教育の指導者を養成する講習会の開催など、人材育成の取組みを推進する。 	「環境教育指導者養成講習会」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ●2020～2021年度（R2～3年度） 一般募集及び公園関係機関スタッフ対象に開催 ●2022年度（R4年度） 九州JAZA会員の動物園・水族館スタッフ対象に開催 	一般募集及び公園関係機関スタッフ対象に開催（9月）										
	環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ●森の池、動物の森、マリンワールド海の中道など園内の多様な資源を活かすとともに、それらの連携により、多様で、学習効果の高いプログラムを提供する。 	新たな環境学習プログラムの実施（水辺の生き物観察体験、プロジェクトワイルドin森の池等）	<ul style="list-style-type: none"> ●2020年度（R2年度）～ 新規開園した「森の池」を活用したプログラム提供 ●2020年度（R2年度）～ マリンワールドと連携した保全活動の普及啓発イベント実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「森の池」を活用したプログラム提供（8月） ○マリンワールドと連携した保全活動の普及啓発イベント（7月） 										
			「森の池市民協働運営協議会」による運営管理のコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ●2020年度（R2年度）～ 協議会参画団体の協力を得た「森の池」の利活用プログラムの提供 	協議会参画団体の協力を得た「森の池」の利活用プログラムの提供（8月）										
将来像 3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園															
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島-海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。 	ビーチラン	<ul style="list-style-type: none"> ●2021年度（R3年度）～ 玄界灘の海岸線を活用したイベントを開催 	玄界灘の海岸線を活用したイベントを開催（5月）										
			サンシャインプールでの水泳教室、水中エクササイズ等プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> ●2021年度（R3年度）～ 夏季に各プログラムを実施 ●2020年度（R2年度）～ 地域民間事業者や福岡市と連携し自転車観光促進等を促進。渡船場より園外レンタサイクルを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設内の消毒（特に人の手が触れる箇所） ●施設内の換気 ●消毒の設置 ●ポスター等での注意喚起 ●ログハウスに音響やモニターを設置し、憩いの場として利用者に開放する。また空調も増設し、環境を整える。 										
	癒やし	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。 	花を愛でながら食事が楽しめる花カフェの設置	<ul style="list-style-type: none"> ●2020年度（R2年度）～ 春秋を主に季節売店の営業（花カフェ） ●テーブルセット等配置し休憩スペースを創出 	春秋を主に季節売店の営業（花カフェ） 一人一花運動との連携イベント（4月）										
			ハーモニーとコントラストによる「花の丘」の再デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●春：桜とネモフィラの色彩が織り成す見所づくり ●秋：秋空と紅葉コキアによる花風景の演出 	<ul style="list-style-type: none"> ○春：ネモフィラ ○秋：コスモス（コキアは虹・彩の花壇） 										
癒やし	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。 	市民協働による桜並木の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●桜の園の魅力向上と老朽化した桜並木の再生を目標に、市民協働で補植を実施 	市民協働で補植を実施（3月）											
		新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応			<ul style="list-style-type: none"> ○スマホを活用した非接触型のデジタルスタンプラリー（4～5月） ○花カフェ設置（春・秋） ○一人一花運動と連携した新規取組「みんなであつこうミニガーデン」（4～5月） 										

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【海の中道管理センター】

: 全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
						(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)
将来像 4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園															
市民参加の場の充実	市民参加	●市民発案のプログラム、地域の方がインストラクター・講師等となったプログラムなど、市民が主体的に提供するプログラムを充実する。	市民とともに創り上げるプログラム（パークフィットネス）	●2021年度(R3年度)～地域のインストラクターが講師となりヨガ教室などを開催	地域インストラクター講師のヨガ教室（4月・10月）										
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。	様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かした企業研修の場としての公園利用の推進	●2021、2022年度（R3、4年度）に公園を活用した企業研修のメニューの開発、試行を実施	○福岡型ワーケーション推進に向けた「パートナー」登録（4月） ○東区歴史ガイドボランティアと連携したシニア主対象の「森の池歴史ガイドウォーキング」（9月）										
ユニバーサルデザインの考えに基づく整備・管理運営	ユニバーサルデザイン	●ユニバーサルデザインによる園路や施設の整備、改修、本公園の災害時の避難場所としての機能を高めるための施設の耐震化を推進する。 ●障がいのある無にかかわらず、公園の楽しさを享受できるプログラムや施設の充実を図る。	すべての子どもと一緒に楽しめるインクルーシブ・プレイグラウンドの整備	●2022年度(R4年度)以降、カフェリニューアル後に収益の一部を還元し、大芝生広場レストハウス周辺に遊具を段階的に設置	カフェリニューアルにあわせ遊び場に関するワークショップを開催（下半期）										
			大芝生広場レストハウス内売店みんなで創り・育む「インクルーシブ・カフェ」にリニューアル	●2021年度(R3年度) 設計 冬季に改修工事着工 ●2022年度(R4年度) 春季 リニューアルオープン	大芝生広場レストハウス内売店リニューアルにむけた設計・冬季の改修										
			障がいのある方も安心して楽しめる「動物ふれあい出張プログラム」の実施	●2021年度(R3年度)～ 大芝生広場レストハウス周辺にふれあいコーナーを設置し、動物スタッフが側面支援	カフェリニューアルにあわせふれあいコーナーを設置試行（下半期）										
	園内移動	●公園全体の交通ネットワークの再整理を行った上で、サイクリングコースやバスルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の整備など必要な対策を実施する。 ●広い公園をスムーズに、楽しく移動できる新たなモビリティの導入などにより、園内の回遊性を高める。	動物の森において、障がい者の心身の活性化に役立つケアプログラムを提供	●2020年度(R2年度)～ 青少年海の家の利用団体等を対象に開催 ●2020～2021年度（R2～3年度） パーソナルモビリティ活用の実証実験、及び既存園内交通の課題抽出 ●2022年度(R4年度)～ 既存園内交通に代わるサービス導入	青少年海の家の利用団体等を対象に開催予定（6月・10月） ○パーソナルモビリティ活用の実証実験（4～5月） ○園内交通の課題抽出（下半期）										

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【マリワールドPFI（株）】

：全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）																			
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)										
<p>将来像1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園 多様な主体との連携、一体的な発信</p>																									
	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセミナー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	●海の冒険団																				
<p>将来像2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園</p>																									
教育施設、環境学習フィールドとして活用	環境学習	●森の池、動物の森、マリワールド海の中道など園内の多様な資源を活かすとともに、それらの連携により、多様で、学習効果の高いプログラムを提供する。	環境共生の森での絶滅危惧種の保全、外来種の駆除	<p>●光と風の広場「環境共生の森」のため池を利用し、希少淡水魚ニッポンバラタナゴ域外保全活動を行う。また一般市民が参加できる環境学習の場として定着させる。</p> <p>2021年度(R3年度) 孵化稚魚のため池放流 2022年度(R4年度) 成長観察 2023年度(R5年度) ため池での自然産卵</p> <p>●希少淡水魚の生活環境多様化のため、また環境学習の実践場として「水路」「水田」の整備</p> <p>●いこいの森湿地を使用しカスミサンショウウオ域外保全地活動を行う。</p> <p>2021年度(R3年度) 保全囲い内の自然産卵 2022年度(R4年度) 保全囲いの増設 2023年度(R5年度) 湿地へ放流</p>	<p>【環境共生の森】</p> <ul style="list-style-type: none"> いのちの池:生質内粗放飼育ニッポンバラタナゴの管理・ヌマガイを母貝として使用し繁殖させる。 ヌマガイ池(仮称):移植したヌマガイの自然繁殖環境を整備する。 ニッポンバラタナゴ稚魚池(仮称):池の環境整備と繁殖したニッポンバラタナゴ稚魚の粗放飼育試験。 ピオトープ:2021年に整備したピオトープへ水生植物移植。 <p>【水田・水路】</p> <p>水田の稲作・水路整備により、多様な環境を創造。</p> <p>【いこいの森:北エリア湿地】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年3月保全囲い内で、産卵確認。幼体を育成し、飼育数を増加させる。 保全囲いの増設。 <p>【いこいの森:南エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水生昆虫定期調査 																				
<p>将来像3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園</p>																									
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応	●来館者が安全・安心して利用できる施設環境を提供する。	●HP・館内表示による来館者への協力要請。 ●入館者の検温、手指消毒・施設内の換気、消毒。																				
<p>将来像4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園</p>																									
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。	自然保護への理解を深める自然への窓口となる施設運営	<p>●展示水槽・展示生物を通して自然保護への理解を深める。</p> <p>2021～2023年 (R3～5年) 小笠原シロワニ調査(母島) 2023年度(R5年度) 衛星発信機調査(母島) 海浜公園光と風の広場 アマモ移植 アマモ場の創生 海洋動物の繁殖</p> <p>●野外観察会の実施（毎年2回実施）</p> <p>●学校団体への学習支援</p>	<p>【小笠原シロワニ調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母島・父島の年次調査(12月) 【海浜公園光と風の広場 アマモ移植】 11月アマモ移植 【海洋動物の繁殖】 カマイルカ繁殖計画 <p>【野外観察会】</p> <p>管理センターと協働しての観察会</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/25(日)水辺のいきもの観察会 7/31(土)カスミサンショウウオ観察会 地域の環境を利用した磯の観察会 4/10(土)、5/9(日)勝馬海岸 <p>【学習プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート、講話等提供 																				

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【マリンワールドPFI（株）】

: 全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）													
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)				
ユニバーサルデザインの考えに基づく整備・管理運営	ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインによる園路や施設の整備、改修、本公園の災害時の避難場所としての機能を高めるための施設の耐震化を推進する。 ●障がいの有無にかかわらず、公園の楽しさを享受できるプログラムや施設の充実を図る。 	ソフト面におけるユニバーサルデザイン推進（スタッフへのコミュニケーション・接客トレーニング、多言語リーフレット・デジタルサイネージ設置等）	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフ接客マニュアル作成、チェック及びトレーニングの継続 ●多言語生物解説の推進 	【接客】策定した接客マニュアルに則ったチェック及びトレーニングの継続 【多言語生物解説】リンネレンズの継続 リンネレンズガイドの英語翻訳														
			特別支援学校等への移動水族館	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年2校実施 	【移動水族館教室】 ・11月 福岡市立 福岡中央特別支援学校 福岡県立 川崎特別支援学校														

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【（株）海の中道リゾート（ホテル）】

：全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）																			
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)										
将来像1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																									
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセミナー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	→ドルフィンセミナー 実施中																				
将来像2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園																									
地域活性化	地域活性化	地元と連携し、収穫体験、釣り体験等のアクティビティ、志賀島と連携したサイクルツーリズムなど、公園を起点とした地域観光への誘導を推進する。 地域との連携によるイベントの開催などにより、公園と地域の集客施設等との相互利用を促進する。	地域の施設や地元業者と連携する。（地元陶芸、野菜収穫＆ランチ）	●2021年度（R3年度）春頃から西戸崎の陶芸工房と連携した陶芸教室を開催 ●志賀島の契約農園で野菜等を収穫し、その食材を使ったランチを提供するプランを開始	→2021年5月～ →実施中																				
将来像3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園																									
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島-海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。	新たな（健康）レクリエーションの導入（サブネス）	●2021年度(R3年度)春頃からサブネスを実施	→2021年9月～																				
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		●施設内の消毒（特に人の手が触れる箇所） ●施設内の換気 ●消毒の設置 ●ポスター等での注意喚起																				

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【（株）海の中道リゾート】

【マリナー】

：全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）																			
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)										
将来像1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																									
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセミナー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	●弊社の関連団体が主催している『九州UMIアカデミー』の主会場を海の中道マリナーに移し、公園内の施設を利用してアカデミーを開催していく。																				
海の中道ならではの多様なレクリエーションの提供	海の魅力の発揮	●穏やかな海に面した砂浜が広がるB地区未供用区域を、海と触れ合うことができる海浜レクリエーション空間として整備する。 ●博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活用したアクティビティを導入する（SUP、カヤック、ホースライディング等）。	一般に開かれたマリナー運営（クルーズ体験、ヨット教室、公園利用者にも利用しやすく）	●2022年度（R4年度）からヨット教室を開催（R3準備） ●公園利用者も利用しやすいように広報の連携を強化	●福岡県セーリング連盟や小戸サンライズクラブ（ヨット活動を行う任意団体）との協議を開始する。 ●公園内施設にポスターの掲示を依頼する。																				
将来像3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園																									
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		●施設内の消毒（特に人の手が触れる箇所） ●施設内の換気 ●消毒の設置 ●ポスター等での注意喚起																				
将来像4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園																									
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の間心の高い学習プログラムを充実する。	ブルーシーフード教室、ディンギーヨット教室の開催	●ブルーシーフード教室、ディンギーヨット教室をR3年度に準備、R4年度から開催。	●ブルーシーフード教室について、漁協やレストランとの打ち合わせを行う。 ●ディンギーヨット教室について、福岡県セーリング連盟や小戸サンライズクラブ（ヨット活動を行う任意団体）との協議を開始する。																				

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【（株）海の中道リゾート】

【テニス】

：全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	○年度取組	計画スケジュール（年度・予定）																			
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)										
将来像 1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																									
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	●福岡型ワーケーション推進パートナー等の企業との連携を推進し、土日並びにナイターコート以外でもテニスコートを稼働していける体制を目指す。																				
将来像 3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園																									
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインボールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島・海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。	幅広い年齢層を対象としたスクールや大会の開催、健康クリニック付き高齢者テニス	●幅広い年齢層を対象としたスクールや大会を継続的に開催。 ●2021年度(R3年度)に健康クリニック付高齢者テニスをイベントとして開催	●9月中旬にシニアを対象としたテニスイベントを行う（年齢別トーナメントを行い高齢者を含めた幅広い年齢層に楽しんでいただく）。																				
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		●施設内の消毒（特に人の手が触れる箇所） ●施設内の換気 ●消毒の設置 ●ポスター等での注意喚起 ●ログハウスに音響やモニターを設置し、憩いの場として利用者に開放する。また空調も増設し、環境を整える。																				
将来像 4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園																									
ユニバーサルデザインの考えに基づく整備・管理運営	ユニバーサルデザイン	●ユニバーサルデザインによる園路や施設の整備、改修、本公園の災害時の避難場所としての機能を高めるための施設の耐震化を推進する。 ●障がいの有無にかかわらず、公園の楽しさを享受できるプログラムや施設の充実を図る。	障がい者がテニスを楽しめるコート整備	●車いすでも利用できるハードコートまでの動線を障害者でも利用しやすいように整備し、障がい者テニス大会を2022年度（R4年度）に誘致できるよう準備を進める。	●飯塚車椅子テニス大会の視察を行う。 ●車いすテニスの大谷桃子プロのコーチに連絡しており、7月頃に実際に大谷プロにハードコートを使用していただく予定としている。																				

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【青少年海の家】

：全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）																			
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)										
将来像1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																									
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセミナー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	公園内の各機関の企画・広報担当者をメンバーとする「利用促進・サービス向上部会」にて情報共有と連携を図り、新規プログラムの開発を行う。 福岡市環境局との連携による北海岸における清掃ボランティアの促進。																				
将来像2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園																									
教育施設、環境学習フィールドとして活用	環境学習	●森の池、動物の森、マリンワールド海の中道など園内の多様な資源を活かすとともに、それらの連携により、多様で、学習効果の高いプログラムを提供する。	自然観察活動（動植物観察、貝殻採取、ビーチクリーンアップ、天体観察 等）	既存の活動プログラムの見直し・リニューアルを図り、自然教室や主催事業（イベント）での満足度を上げる。	開発した新たなプログラムの実践と改良の取り組み。利用者のニーズを調査し、主催事業などのプログラムに反映する。																				
将来像3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園																									
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		コロナ禍での利用制限解除に伴い、感染防止対策の見直しと予防の徹底を図り、安心安全な施設利用を提供する。 健康の維持管理を提供できるプログラムを開発する。																				
将来像4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園																									
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。	野外活動機会の積極提供	●他の機関とのコラボレーションによる、活動プログラムの実施や出張やブース出展などの提供機会を充実	一般企業向けの職員研修など利用促進チラシの作成配布。 また、団体のみならず家族での利用可能なことを、PRするために商業施設などでのイベントを実施する。																				

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【海の中道パーク・ツーリズム共同事業体】

：全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）																											
大項目	項目	今後の具体的な取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)																		
将来像 1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																																	
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセミナー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	本年度末のオープンに向けて各機関と連携策を協議予定																												
	海の中道ならではの多様なレクリエーションの提供	●既にファミリー層の利用者が多いC地区はその魅力をより強化、Park-PFI事業が開始されるB地区は大人向けエリアとして整備・管理運営を行うなど、利用状況、特徴等にに応じた各エリアの差別化を一層推進し、多様な層へ多様な楽しみ方を提供する。 ●日本と世界を繋ぐ、公園内外を繋ぐ、人と人とを繋ぐ「繋がりのエントランス」として海の中道駅口をリニューアルする。	Park-PFI事業の開始、運営（球体テント、立体アスレチック施設の整備）	●2022年（令和4年）3月グランドオープン	2022年3月オープンに向けて運営計画の立案、施設の施工を実施予定																												
	海の魅力の発揮	●穏やかな海に面した砂浜が広がるB地区未供用区域を、海と触れ合うことができる海浜レクリエーション空間として整備する。 ●博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活用したアクティビティを導入する（SUP、カヤック、ホースライディング等）。	博多湾、玄界灘海浜部でのアクティビティ導入（SUP、カヤック、ホースライディング等）	●新たなアクティビティの導入でこれまで利用の少なかった園内海浜部を活用し、公園の魅力向上に寄与する。	各アクティビティ事業者と詳細協議を実施予定																												
食の魅力の充実	●地産地消、食育などのテーマ性のある食の提供、地域と連携したマルシェの開催など海の中道ならではの飲食サービスを充実させる。	地域と連携したマルシェ等のイベントの開催	●定期的に地域イベントを開催することで海中地域の魅力を発信する。	地元事業者と詳細を協議予定																													
		収穫体験や食育、地産地消等の要素を加え新たな体験型アクティビティとしてのBBQサービス提供	●周辺地域と連携し、地場産品を利用した飲食・体験価値を提供する。	地元事業者と詳細を協議予定																													
将来像 2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園																																	
教育施設、環境学習フィールドとして活用	環境学習	●森の池、動物の森、マリンワールド海の中道など園内の多様な資源を活かすとともに、それらの連携により、多様で、学習効果の高いプログラムを提供する。	共生の森・森の池での自然観察	観察プログラムを通じ、海中地域や海浜公園特有の自然環境への理解を深める。	自然観察プログラムの詳細を検討予定																												
将来像 3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園																																	
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島・海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。	パノラマ広場でのヨガ等健康アクティビティの実施	●通常と異なる環境下での活動によりモチベーション維持し、継続的な運動を促す。	各種アクティビティの検討、実施事業者と詳細を協議予定																												
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	レストラン&カフェ・バーの整備	●2022年（令和4年）3月グランドオープン	2022年3月オープンに向けて事業計画の立案、施設の施工を実施予定																												

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【海の中道パーク・ツーリズム共同事業体】

: 全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
						(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	癒やし	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。 	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		感染症対策の検討、ランドスケープの検討・施工を実施予定										
将来像4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園															
市民参加の場の充実	市民参加	<ul style="list-style-type: none"> ●市民発案のプログラム、地域の方がインストラクター・講師等となったプログラムなど、市民が主体的に提供するプログラムを充実する。 	地元講師を招いたワークショップやイベントの企画、地域住民企画のイベント等受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民や地元団体の活動や発表の場、機会を創出し、公園利用を促進する。 	地元団体等と詳細協議予定										
学びの場	学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。 	遊びながら学べるアクティビティの導入（アクティブラーニングを意識したプログラム開発他）	<ul style="list-style-type: none"> ●アスレチックタワーの整備 ●段階的なプログラムの企画開発、実施 	2022年3月オープンへ向けてアスレチックタワーの施工、学習プログラムの詳細検討を実施予定										

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【国土交通省】

: 全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）										
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
						(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)	
将来像1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●本公園の将来像の実現に向けて「国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会」で各主体の連携を強化し、継続的なフォローアップを行う。	関係主体の協議の場として「国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会」を運営	●協議会を年2回開催するとともに、フォローアップのための園内関係機関の会議を月1回開催	年2回開催予定（5月、11月）											
	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセラモニー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	公園内の各機関の企画・広報担当者をメンバーとする「利用促進・サービス向上部会」で具体的な連携の調整等を実施											
海の中道ならではの多様なレクリエーションの提供	多様なニーズへの対応	●既にファミリー層の利用者が多いC地区はその魅力をより強化、Park-PFI事業が開始されるB地区は大人向けエリアとして整備・管理運営を行うなど、利用状況、特徴等に応じた各エリアの差別化を一層推進し、多様な層へ多様な楽しみ方を提供する。 ●日本と世界を繋ぐ、公園内外を繋ぐ、人と人とを繋ぐ「繋がりのエントランス」として海の中道駅口をリニューアルする。	多様なニーズの受け皿となるよう園内全体のゾーニングの再整理（ファミリー層向けエリア、大人向けエリア、歩行者空間 等）	●2021年度（R3年度）にゾーニングを再整理し、そのゾーニングに基づき計画的に整備	将来像を具体化するための再整備等の計画を作成予定											
	海の魅力の発揮	●穏やかな海に面した砂浜が広がるB地区未供用区域を、海と触れ合うことができる海浜レクリエーション空間として整備する。 ●博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活用したアクティビティを導入する（SUP、カヤック、ホースライディング等）。	B地区未供用区域の整備（親水空間としての活用）	●2021年度（R3年度）から検討、設計に着手し、2023年度（R5年度）までに再整備完了	●2021年度（R3年度）にちびっこ広場の遊具更新 ●2022年度（R4年度）にユニバーサルデザイン遊具の更新	今年度中に設計を行い、来年度から整備予定										
食の魅力の充実	●地産地消、食育等などのテーマ性のある食の提供、地域と連携したマルシェの開催など海の中道ならではの飲食サービスを充実させる。	園内施設の集約再編にあわせた新たな飲食施設の整備	●2021年度（R3年度）～2025年度（R7年度）：B地区の動植物等の環境調査、計画、設計 ●2026年度（R8年度）以降整備着手、2030年度（R12年度）頃供用	●2024～2025年度（R6～R7年度）に園内のレストハウス等を集約再編し、新たな飲食施設を整備	施設の集約再編に向けた計画を今年度検討予定											
将来像2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園																
海の中道固有の白砂青松の景観の保全、再生	マツ林育成	●玄界灘側のD地区未供用区域のマツの植栽等を推進する。 ●樹幹注入等の松くい虫対策や植林箇所との密度管理等、マツ林の育成保全の取組を継続して実施する。	D地区の未供用区域の整備	●2030年度（R12年度）頃供用できるよう、継続的にマツの植栽等を実施	D地区未供用区域のマツ植林に向けた造成を実施予定											
			園内の松林を保全・育成するための樹幹注入や薬剤散布等の松くい虫対策、間伐	●園内全域で健全なマツ林を維持・継承	樹幹注入や薬剤散布等の松くい虫対策を継続的に実施予定											

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【国土交通省】

: 全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2021年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
						(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)
将来像 3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園															
スポーツ・レクリエーションの場としての機能充実	運動	●既に市民の多様なスポーツの場として親しまれている雁の巣レクリエーションセンターの区域を、福岡市が管理する現行の形を基本として国営公園として供用するとともに、他の公園区域との連携を強化する ●園内の園路の改修等により、サイクリング専用コースやジョギングコースなどの運動ができるコースの設定を行う。	雁の巣レクリエーションセンターの国営公園区域としての供用	●雁の巣レクリエーションセンターと他の区域との連携方策、整備内容や運営方法等の調整	福岡市と継続的に情報共有を進める予定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島-海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。	健康づくりのためのサイクリング専用コースの設置	●2023年度(R5年度)までにサイクリングコースを再編・改修して専用コースを整備	サイクリングコースの改修に向けた設計を実施予定		■	■	■						
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		・各機関と連携し、感染症対策の徹底を図る ・海の中道駅のリニューアルにあわせて花修景の強化とカフェ等の設置に向けた検討を実施予定										
将来像 4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園															
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。	様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かした企業研修の場としての公園利用の推進	●2021、2022年度（R3、4年度）に公園を活用した企業研修のメニューの開発、試行を実施	福岡市のワーケーション施策と連携した取組を推進予定	■									
ユニバーサルデザインの考えに基づく整備・管理運営	ユニバーサルデザイン	●ユニバーサルデザインによる園路や施設の整備、改修、本公園の災害時の避難場所としての機能を高めるための施設の耐震化を推進する。 ●障がいの有無にかかわらず、公園の楽しさを享受できるプログラムや施設の充実を図る。	ユニバーサルデザインによる施設整備、改修、避難地としての機能を高める施設の耐震化	●施設更新にあわせた園路、トイレ等のユニバーサルデザイン化、耐震化の推進、充実	計画的に園路等の改修、ユニバーサルデザイン化を推進予定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	園内移動	●公園全体の交通ネットワークの再整理を行った上で、サイクリングコースやバスルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の整備など必要な対策を実施する。 ●広い公園をスムーズに、楽しく移動できる新たなモビリティの導入などにより、園内の回遊性を高める。	公園全体の交通ネットワークの将来形の検討とその検討結果に基づく園路等の改修、再整備 C地区の利用が集中している場所にスクラップ&ビルドにより新たな交通・休憩の拠点を整備	●2021年度(R3年度)：全体計画の整理 ●2022年度(R4年度)以降：優先順位に応じて順次改修 ●2024～2025年度(R6～R7年度)に園内のレストハウス等を集約再編し、新たな交通・休憩の拠点を整備	園内交通の見直しに向けた計画を今年度検討予定 施設の集約再編、園内交通の見直しに向けた計画を今年度検討予定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■